

科学館協議会議事録

会 議 名	平成26年度 第1回科学館協議会
期 日	平成26年5月31日（土）午後1時30分～3時30分
出 席 者	伊藤仟佐子，大草芳江，菊地崇良，小松尚哉，田中真美，鶴谷研，寺前紀夫，長瀬敏郎，樋口和美，の9委員（欠席・・・和泉眞喜子，平吹喜彦委員） 教育長，館長，副館長，庶務係長，主任指導主事，指導主事2名，主任
議 事 等	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状及び任命状交付 教育長より委員へ交付した。</p> <p>3 教育長挨拶</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 職員紹介</p> <p>6 会長及び副会長選出 会長に寺前紀夫委員，副会長に小松尚哉委員がそれぞれ選出された。</p> <p>7 会長及び副会長挨拶</p> <p>○ 寺前会長が議長となり，議事を公開することとし，会議を進行した。</p> <p>○ 議長より，議事録署名人に伊藤委員を指名した。</p> <p>8 報告事項</p> <p>（1）科学館の概要について・・・ 館長から資料1に基づき説明をした。 （質疑等） 伊藤委員・・・科学館ボランティアのサイエンスインタープリターは，資格が必要であるとか研修を受けるなど規定はありますか。 花田指導主事・・・新規で登録する場合には，科学館主催の研修会を2回受けていただいております。 一年ごとの登録としておりますので，その際に，科学館で活動をする旨の規定まではいかないのですがルールをつくりまして，それに同意していただいた方に再登録をさせていただきます。</p> <p>伊藤委員・・・年齢層は・・・。 花田指導主事・・・大学生から80歳位の方までいらっしゃいます。</p> <p>（2）平成25年度主要事業実績報告及び平成26年度事業計画について・・・ 中澤主任指導主事から資料2-1，2-2に基づき説明をした。 （質疑等） 会長・・・資料に載っている科学館のシンボルマークですが，これから</p>

議 事 等

も色々なところで使って、もっと定着させていかれたらよろしいと思います。

田中委員・・・科学館学習は市内のすべての中学校が参加しているのでしょうか。

中澤主任指導主事・・・ほぼすべてです。市立、私立、宮教大付属、特別支援学校、院内学級などの生徒に参加いただいています。

(3) 平成26年度科学館特別展について・・・

花田指導主事から資料3に基づき説明をした。

(質疑等)

菊地委員・・・配置・順路は、発達順でしょうか。

花田指導主事・・・時代ごとに進化を捉えていただけるように配置をしています。

菊地委員・・・図面は科学館で作成したものでですか。

館長・・・業務委託で専門業者が作成したものです。

菊地委員・・・おおよその予算はいくらですか。

館長・・・特別展は全部合わせると2,000万円弱位です。

国立科学博物館の恐竜の運送費と、科博(国立科学博物館)の方の講演会の旅費も、科博で支出していただけます。

今回震災復興で科博との共同主催のため、過去何回か恐竜展を開催していますが、今回は最大規模になります。

菊地委員・・・東北六県の方々へのご案内の方法は。

館長・・・宮城県内は学校を通じてチラシを配布します。県外については弱いというのが実態です。ホームページの他、この時期遠足などで来ているの方々へチラシの配布が出来るのですが、東北全体へ情報を届ける方法は今のところ探せていません。

菊地委員・・・せっかくの素晴らしい教育資源なので、東北の方々にもいらしていただく価値があると思います。私も、東北六県の、たとえば観光交流の会議の中などで情報を発信していきたいと思います。

科学館からも様々な会合へのお願いをされたらよろしいと思います。

館長・・・いろいろ教えていただければ私たちも頑張っていきますのでよろしくお願いします。

小松委員・・・震災関連ということでは、宮城県、隣県の生物化石、標本も展示できるとよかったのではないのでしょうか。

花田指導主事・・・今回検討はしたのですがスペースの関係で難しくなりました。今後、活用させていただきたいと思います。

伊藤委員・・・プログラムのようなものがあるといいですね。後でじっくり学習できるような。それから、のびすくの情報コーナーに科学館のパンフレットも置いているのですが、もっと子どもたちや親御さんたちの目につくように工夫されるといい

議 事 等

ですね。

館長・・・・・・・・・・広報のあり方には工夫できる余地があるとは思いますが、具体的には予算の問題があったりするので難しいです。お金のかからない方法もあると思うので広報の強化を考えていきたいと思います。

特別展でいきますと、図録というようなものになると思うのですが、今回は作成の予定はしておりません。やはり予算というところできびしいのかなと思います。

会長・・・・・・・・・・学術の方でいきますとPDFファイルをホームページに貼りつけて販売というのがありますので、これからは電子化というのがあるかもしれませんね。

菊地委員・・・・・・・・パンフレットは作成されますか。

花田指導主事・・すべてを網羅できませんが、会場で配布するものを準備しています。

小松委員・・・・・・・・発掘体験コーナーへの動線、導き方に工夫が必要ですね。

樋口委員・・・・・・・・発掘体験の所用時間はどの位ですか。

花田指導主事・・インストラクターを常時2名配置し、子どもによっても違いますが、1分以内位で交代できるようにしたいと考えていますが、途中でやめさせるのではなく、最後まで体験してもらうようには考えています。

菊地委員・・・・・・・・もし、人があふれた場合とか、今回の事業以外でも、館外のエリアで行うのも可能性としてはあるのかと思いますがいかがでしょうか。

花田指導主事・・フィールドに行きまして、化石発掘の自然観察会はおこなっております。今回は恐竜というところに着眼点を置いているため、仙台は恐竜は出ませんので、疑似的な体験になっており、敷地の外は今のところ考えてはおりません。

(4) 展示リニューアル基本計画の策定について・・・

副館長から資料4に基づき説明をした。

(質疑等)

田中委員・・・・・・・・からだのステージのところで「錯視の展示」がありましたが、「いろいろな感覚の展示」もあつたらよろしいのではないのでしょうか。

副館長・・・・・・・・ありがとうございます。こちらの基本計画は、ひとつの例示としてあげておりますので、もっとより良いアイデアがありましたら考えさせていただきたいと思っております

菊地委員・・・・・・・・今、インターネットやスマートフォンなどが進んでいる中で、それらとの連携が、将来の展示に求められているのかと思います。そのことについてもご検討いただきたい。また、子どもたちが体験して終わってしまうそれはそれでいいと思うのですが、気づきの場だから。そこに解説とか説明とか入ってくると思うのですが、さっき申し上げたICT関係でつながっていく形であれば、子どもも大人も成長とともに資料についていけるのかなと思いました。

議 事 等	<p>館長・・・・・・・・タブレットを使った解説であるとかそのようなことは考えているのですが、技術は日進月歩でそれを視野にいれて、その時点でよくてしかも古くならないような、できれば皆さんが持ってきたスマホでも同じように使えるようであればよりいいというふうに考えていきたいと思います。</p> <p>中澤指導主事・・補足ですが、非常に年齢層が幅広く、解説パネルを作るのが最近悩みです。端末の長所を生かしながら、各年齢層にあった解説をできるように、子どもには分かりやすく、大人には詳しくというふうに切り替えができるようにしていければと思います。</p> <p>小松委員・・・・・・・・現在のチャレンジラボのようなコーナーや展示もですが、子どもだけでなく大人も楽しめるようなものを考えていただきたい。あるいは子ども達と大人と一緒にできるようなものを・・・・。</p> <p>館長・・・・・・・・解説は子どもが見えるところには子どもの目線のもの置いて、大人が見えるところには大人が子どもに説明できるようなものを置いて・・・・。一緒に見ながら大人が子どもに教えられるというような、大人も楽しめることを考えていきたいと思います。</p> <p>(5) 科学館学習の授業開発について「生物分野」・・・・ 松本指導主事から資料5に基づき説明をした。 (質疑等)</p> <p>長瀬委員・・・・・・・・「科学館学習のしおり」の最後のところに、自宅でも解剖ができるようにイカの説明を載せてもよろしいのではないのでしょうか。</p> <p>中澤主任指導主事・・そうですね。解剖をやり始めると子どもたちはやめられなくなり、科学館学習の時間では途中でやめてしまわなければならない、家であさりのむき身を買って続きをやりたいという子どももおります。</p> <p>9 事務連絡</p> <p>10 閉会</p> <p>○閉会后、館内の案内を行った。</p>
-------	---

平成 年 月 日

議事録署名人

科学館協議会 会長

印

科学館協議会 委員

印